国立大学法人福井大学教育学部附属

義務教育学校

第2回 教育研究集会の御案内（第2次）

研究主題（第Ⅰ期）

自律的な学びへのイノベーション
探究するコミュニティを培う

研究副題（2年次）

学びのつながりを紡ぎ、社会を創る力をとらえる

期日　令和元年11月22日（金）

会場　福井大学教育学部附属義務教育学校

学校HP　QRコード

文部科学省指定研究
「社会創生プロジェクト」
研究開発校

OECD Education 2030
OECD ISN 2.0実践校
探究チーム福井

主 催／福井大学教育学部附属義務教育学校
後 援／福井県教育委員会　福井市教育委員会
福井県小学校教育研究会　福井県中学校教育研究会

前期課程児童・後期課程生徒　発表（9:15～10:05）

「社会創生プロジェクト」など、子どもたち自身が実感している学びをポスターで発表します。

公開授業Ⅰ（10:20～11:05/11:10）

教科/学級/授業者	主題／「単元・題材」／めざす授業
国　語 5年1組 授業者：野阪 友美	**長い間読み継がれてきた物語の秘密を探ろう**　**「大造じいさんとガン」** 本作品が７０年以上もの間、読み継がれてきたのはなぜだろう？大造じいさんと残雪の戦いを鮮やかに描いた表現のよさに着目しながら心情や場面の様子を読み味わい、自分の読みを友達に投げかけ、話し合いながら探っていく。活動を通して新たな物語の魅力や物語を読む楽しさを味わう授業。
社　会 6年2組 授業者：宮本 泰成	**エドトーク！長期政権「江戸幕府」の秘密**　**「江戸幕府と政治の安定」** 江戸幕府が約２６０年もの長い間続いたのはなぜだろう？幕府体制確立の礎ともいえる「大名統制」「農民統制」「鎖国政策」の３つの施策を比較・検証し、江戸幕府の政治の安定に果たした役割の大きさを価値判断していく。江戸時代と現代をつなぐ「政治」への見方・考え方を仲間との協働でとらえ直していく授業。
算　数 5年2組 授業者：藤川 洋平	**箱の中の立体は何だろう？**　**「角柱と円柱」** この形どう作ろうかな？自分の触覚から得られた情報をもとに、粘土や竹ひごなどの材料を使って立体を作っていく。子どもたちの作った立体には、それぞれの図形に対する見方が表現される。協働で立体の見方について探究していく中で、図形に対する見方や考え方をつかんでいく授業。
理　科 3年2組 授業者：澤本 恵	**大きく響け　みんなに届け　見える音**　**「音を出して調べよう」** 大きい音を出すにはどうしたらいいだろう？音の違いには何が関係しているのだろう？子どもたちは、いろいろなもので音を出し、観察し、比べることで音の出る仕組みを探っていく。音が見える手作り楽器演奏会を行うことで、見えない音の正体に迫る授業。
音　楽 4年1組 授業者：小林 千恵美	**民謡のせんりつの特徴を探ろう**　**「いろいろな音楽に親しもう」** 民謡ってどんな音楽？民謡を聴き、感じ取ったこととリズムや音階との関わりについて考えていく。各自が選んだ民謡を協働で表現して紹介する授業。
造　形 2年2組 授業者：浅井 綾子	**身近な材料から世界に１つの楽器をつくりだそう「ときめきコンサート（工作に表す）」** 音はどうしたら生まれるかな。集めた材料に「叩く」「弾く」「振る」「こする」などいろいろ働きかけながら音の出し方や仕組みを見付けていく。音が鳴る仕組みや音の感じからイメージして色や形で飾り付けをして、音が出せる自分だけの楽器をつくっていく授業。
学校保健 4年2組 授業者：水野 恭子 岩本 桂子	**これまでのわたしとこれからのわたし**　**「育ちゆく体とわたし」** わたしたちの心と体はこれからどんなふうに変わっていくのだろう？人間の思春期における心や体の変化を、動物の生態と照らし合わせながら探っていく。思春期の変化を自分のこととしてとらえながら、自分自身の成長を前向きに受け止め、よりよく成長できる生活を仲間と共に目指していく授業。
体　育 1年1組 授業者：市村 拓也	**遠くへ　狙ったところへ　狙え！ターゲット**　**「ゲーム（ボールゲーム）」** どうしたら遠くへ投げられるの？どうしたら狙ったところへ投げられるの？アドバイスをし合いながらミッションクリアを目指して、チームで様々なボール投げゲームに挑戦していく。協働して課題解決に取り組み、遠投距離や正確性などの投能力を培う授業。
外国語活動 3年1組 授業者：押野 朱里	**外国には無い日本らしいものを紹介しよう～**　**「What's this?」** 外国の人に日本や福井のものを伝えるとき、どのように伝えるといいだろう。写真やものを活用しながら、自分が紹介するものの特徴を説明するための英語表現を協働で探っていく。Show&Tellを通して、相手に英語で粘り強く伝えていく授業。
技　術 7年B組 授業者：齊藤 幹郎	**先輩から学べ！匠の技**　**「材料と加工の技術」** 末永く愛される作品を作るにはどうしたらよいだろう？子どもたちは、学校に残る先輩の作品（チョーク入れ、棚、ベンチ）の材料の選択や構造の工夫点を協働で探究していく。完成までの作業に見通しを立て、自分がイメージする作品を作りあげていく授業。
家　庭 8年B組 授業者：八田 玲子	**見つけよう、自分らしい衣生活**　**「衣生活の自立」** 着なくなった衣服はどうなっていくのだろう？衣服の行方を追いながら、ゴミ問題やエネルギーの消費など、衣生活がもたらす社会への影響について探っていく。衣服の役割を理解しながら、自分らしい衣生活について考え、実践することを目指す授業。

受　付	ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ/児童・生徒発表	公開授業Ⅰ	公開授業Ⅱ	昼 食	分科会	全体会 / シンポジウム
8:10	8:50	10:05	10:20	11:05/10	11:20	12:10	13:00	14:15	14:30	16:30

公開授業Ⅱ（11:20～12:10）

教科/学級/授業者	主題　/「単元・題材」/　めざす授業
国　語 7年C組 **授業者：島田 裕美子**	**「僕」が見た「戦争」、「弟」への思いを探る　「大人になれなかった弟たちに……」** 「僕」にとって弟「ヒロユキ」とはどのような存在だったのだろうか？作品の背景にある社会、文化、歴史をどのように捉えることが、「僕」の弟への思いやその時代への思いを読み深めることにつながるのかを仲間とともに探っていく。現代において、この作品を読む意義を考え、作品が内包する価値を読み解き、自分のものの見方や考え方を広げていく授業。
社　会 9年A組 **授業者：坂東 由美**	**みんなの願いをかなえる福井市予算案を提案しよう　「地方自治と私たち」** 「住みよさランキング」が上位なのに実感できないことがあるのはなぜだろう？願いをかなえるために財源の最適なつかいみちを仲間と協働で探る。予算案作成を通して、これからの福井を提案する授業。
数　学 8年B組 **授業者：柳本 一休**	**図形の美しさの秘密を探ろう　3　「図形の性質と証明」** 図形の対称性や合同に美しさを感じてきた子どもたち。どうすれば図形は美しくなるのか、美しさからの“ずれ”に注目し、辺や角についての因果関係をAならばBと表現していく。これらの関係をどのようにつないでいけば証明がつくられていくのだろう。立方体の面上にひし形を描く体験から、証明の仕組みを探究し、論証に必要な図形に対する見方や考え方を培っていく授業。
理　科 7年A組 **授業者：佐々木 康順**	**見えない世界の「見える化」プロジェクト！　「身のまわりの現象」** 自分たちの手で虹を作り出すにはどうすればいいのだろう？実験を通して、身近な物理現象の解明には作図や観測、数値化が必要であることを感じ、光や音、力の規則性を協働で見いだしていく。自分たちの手で身近な物理現象を再現していくことから、科学的に探究する力を育んでいく授業。
音　楽 9年B組 **授業者：柳 博恵**	**日本と世界、そして自分の声の特徴を探ろう！** **「歌い継ごう 日本の歌」「味わおう 世界の諸民族の音楽」** 各自が選んだジャンルの音楽は、いつ・どこで・なぜ生まれ、誰がどんな声で歌っているのだろうか？音楽の歴史を紐解き、音楽文化についての理解を深めるとともに、鑑賞活動を通して民族音楽や伝統音楽の特徴を探っていく。発声や声の音色などに着目し、協働で声による表現の可能性を広げていく授業。
美　術 7年B組 **授業者：菜畑 未来**	**アニメーションで私たちの「福井」を伝えよう　「絵や立体が動き出す」** 自分たちのもっている福井のイメージ、どう表現すると伝わるかな？仲間とイメージを共有し合いながら、自分たちの表現に価値付けし、一つの作品をつくりあげていく。形や色、音を使って、ストップモーションアニメーションで表し、社会に発信していく授業。
学校保健 8年C組 **授業者：綿谷 明菜**	**喫煙者ゼロキャンペーンを考えよう！　「喫煙と健康」** 健康について関心が高まっている現代においても「たばこ」がなくならないのはなぜだろう？百害あって一利なしと言われる「たばこ」。新たな喫煙者をゼロにするためのキャンペーンを協働で考えることで、喫煙が及ぼす体や社会への影響を知り、自分や家族の健康について考えていく授業。
保健体育 8年A組 **授業者：田原 裕**	**チームの特徴をいかした戦い方を探ろう　「球技（バレーボール）」** どうすればあのチームから得点したり失点を防いだりできるのだろう？今もっている知識や技能に加え、新たに戦術や作戦に目を向け、チームの特徴をいかした戦い方を仲間と協働で探っていく。互いの戦い方をゲームで表現することを通して、バレーボールのもつ特性をつかんでいく授業。
英　語 9年C組 **授業者：兼井 智加**	**Who is your power?　「Unit 6　Striving for a Better World」** 誰が自分を支えてくれているのだろうか？アウンサン・スーチーの半生を読み解き、彼女の支えとなっていたものについて協働で探っていく。仲間や文章と対話し、9年間で学んできた多様な表現を活用しながら、自分を支えてくれている人への思いを伝え抜く授業。

分科会（13:00～14:15）

教科ごとに分科会を開催します。公開授業における子どもたちの学びの見取りをもとに、教科の目指す本質的な学びについて語り合いながら、義務教育課程における協働探究カリキュラムの在り方について参加者全員で協議していきます。

全体会（14:30～16:30）

校長挨拶　大山　利夫
来賓挨拶　福井県教育委員会
研究概要　前期課程研究主任　五十嵐　洋行
シンポジウム「協働探究サイクルが生み出す子どもの学びをとらえる
～全教科・領域で培う資質・能力～」

テーマ「協働探究サイクルが生み出す子どもの学びをとらえる ～全教科・領域で培う資質・能力～」

シンポジスト

秋田　喜代美 氏
（東京大学大学院教育学研究科長　教授）

白水　始 氏
（東京大学高大接続研究開発センター　教授）

柳　博恵
（福井大学教職大学院　准教授
本校後期課程　統括研究主任）

秋田 喜代美 氏

白水 始 氏

木村 優 氏

コーディネーター

木村　優 氏（福井大学教職大学院　准教授）

「２１世紀を生き抜くための資質・能力とは？」「資質・能力を評価するとはどういうことなのか？」全教科・領域における９年間の協働探究を通して、どのような資質・能力を引き出すのかを子どもの学びの姿からとらえます。ご来場された方々と一緒に、公開授業などでの学びの様子をもとに、これからの学校教育の在り方や使命について考えていきたいと思います。

参加費　2,000円（資料代含む、昼食代は別途）
申し込み方法：本校HP上のフォームから必要事項をご記入の上、
令和元年11月8日（金）までにお申し込みください。
右のQRコードからも直接お申し込みができます。

申し込み用 QRコード

問合せ先：担当：柳本
〒910-0015福井県福井市二の宮4丁目45-1　Email：fukuifuzokugimu@gmail.com
tel 0776(22)6985　fax 0776(22)6703　HP:http://www.f-edu.u-fukui.ac.jp/~fuzoku-g/

平成30年11月30日発刊！本校出版本

「福井発　プロジェクト型学習　～未来を創る子どもたち～」

福井大学教育学部附属義務教育学校教育実践研究会　著　　東洋館出版社　2,100円＋税

プロジェクト型学習の学びを通して子どもたちが語る学びとその様相を本校職員が書き表し、これら実践の価値と意義を教育研究者が理論付けした、実践と理論の往還を示す書。

主な執筆者　**秋田　喜代美**氏（東京大学）
松木　健一・柳沢　昌一・木村　優・岸野　麻衣（福井大学）

OECD日本イノベーション教育ネットワーク　代表　**鈴木　寛**氏 推薦（帯文）

supported by OECD Education 2030